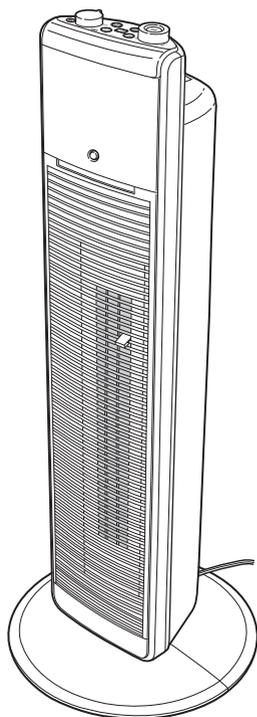


送風機能付ファンヒーター KHF-1260

取扱説明書 (保証書別途添付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~4
知っておいていただきたいこと	5~6
各部のなまえ	7~8
リモコンについて	9
ご使用前の準備(台座を取り付ける)	10
運転のしかた	11~14
温風運転する	11
送風運転する	12
運転を停止する	12
いろいろな機能の使いかた	13~14
首振り機能	13
オフタイマー機能	13
消灯機能	13
人感センサー機能	14
チャイルドロック	14
お手入れのしかた	15
保管のしかた	15
故障かな?と思われたときは	16
仕様	17
消耗部品について	17
アフターサービスについて	17
お客様の個人情報のお取り扱いについて	19
お客様相談窓口	19

このたびは、コイズミ 送風機能付ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

なお、保証書は別途添付されています。お読みになられた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~6ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



●故障・異常時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
・スイッチを入れても、時々通電しない時がある。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・通電中に異常な音や振動がする。
・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
・こげくさい臭いがする。
※このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。



●改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



●スプレー缶等を本体の近くに置かない。
爆発や火災の原因となります。

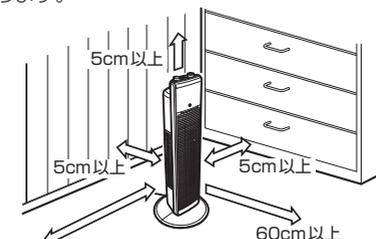
●すき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。
感電や異常動作してけがをすることがあります。

●電源コードを束ねて使用しない。
発熱による火災の原因となります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。

⚠ 警告

- カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、風に吸い込まれやすいものの近くで使用しない。火災や故障の恐れがあります。図に示す寸法以内に近づけないでください。



※開放空間にする
(カーテンや家具で吸込口や吹出口をふさがない。)
(消防法基準適合)

- 就寝中は温風運転をしない。
寝具などが触れると火災の原因となります。

- 長時間同じ部位に風を当てない。
低温やけどや健康を害する恐れがあります。

- 台座を取り付ける前に運転しない。
不安定なため転倒し、火災・感電・けがの原因となります。

- やけどの恐れあり。
次のような方がお使いのときは特に注意してください。
・乳幼児 ・自分で操作できない方 ・皮膚感覚の弱い方

- 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
- 延長コードを使用しない。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

- 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。
火災の原因となります。

- 電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重いものを載せる・はさみ込む・送風機能付ファンヒーターの下を通すなどしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

- 電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因となります。

- AC100V 以外では使用しない。(日本国内専用)
火災・感電の原因となります。
AC200V・船舶の電源・直流電源など AC100V 以外では使用しないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電やけがをすることがあります。



- 発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

⚠ 注意



- 本体に衣類やふとんをかけて使用しない。
過熱して火災の原因となります。
- 犬や猫などのペット用として使用しない。
ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因となることがあります。
- 使用中や使用後、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。
けがややけど、故障の原因となります。
- 乾燥等他の用途に使用しない。
過熱して発火することがあります。燃えやすいものの落下等にはご注意ください。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。



- 外出時、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



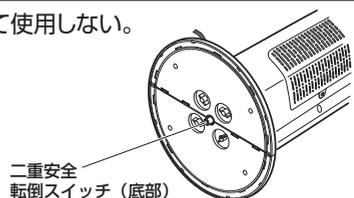
- 本体や操作部に水やお茶等をこぼさない。
万一こぼれた時は、漏電や感電、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



- 使用中や使用後しばらくは吹出口など高温部に触れない。
- 吹出口のすき間に手や指を入れない。
やけどやけがの原因となります。



- 二重安全転倒スイッチをテープなどで固定して使用しない。
火災の原因となります。



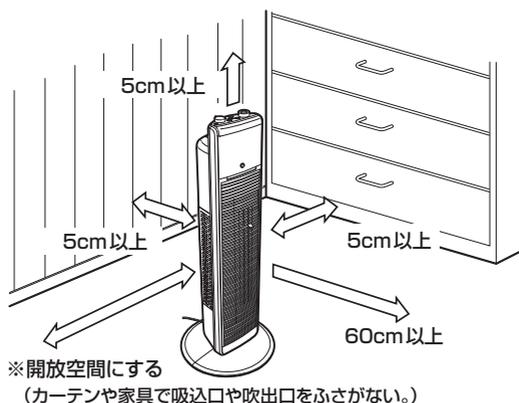
⚠ 注意

	<p>● 次のような場所で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所・ ガスレンジなど炎の近く、引火性ガスのある所 感電やショート・発火の原因となります。
	<p>● 毛足の長い敷物の上や座ぶとんの上など、不安定な場所で使用しない。</p> 火災の原因となります。
	<p>● 壁や家具の近くで使用しない。</p> 温風吹出口を壁や家具に向けないでください。熱で壁や家具が変形・変色したり火災の原因となることがあります。
	<p>● 強い衝撃や振動を与えない。</p> 故障の原因となります。
	<p>● 調節可動範囲を超えて無理に動かさない。</p> 故障の原因となります。
	<p>● フィルターを取り外したまま使用しない。</p> 本体内部にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火や過熱する原因となります。
	<p>● 本体を横にねかせて使用したり、台座を取り付けずに電源を入れて運転させない。</p> 故障や事故・ケガの原因となります。
	<p>● 吹出口や吸込口を、障害物やテープなどでふさがない。</p> 故障や事故の原因となります。
	<p>● 本体の掃除は必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。</p> 感電ややけどをすることがあります。
	<p>● 乾電池の取り扱いに関して、以下のことを守る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 乾電池（単4形）以外は使用しない。・ 乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。・ 乾電池は⊕⊖極を確かめ、正しく入れる。・ 使い切った乾電池は、すぐ取り出し、分別廃棄する。・ 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。・ 使用推奨期限内の乾電池を使用する。・ 新しい乾電池と古い乾電池または異なった種類の乾電池を混ぜて使用しない。・ 火の中に捨てない。 乾電池の発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。

知っておいていただきたいこと

設置について

- 壁や家具、カーテンなど燃えやすいものから離して設置してください。
- 上方から落下物の恐れがないところに設置してください。
- 前方60cm以上、上方・後方・側方5cm以上あけ、左右どちらかは障害物のない開放空間にしてください。



- 吹出口をふさがないようにしてください。
- 水平で安定したじょうぶな床の上に設置してください。
- 高温・多湿・水のかかる場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 人がよく通るところや、就寝中に手が届くところに設置しないでください。
- 必ず台座を取り付けてから使用してください。

移動について

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから移動させてください。
- 必ず背面の取っ手の部分に手を入れ、持ち上げて移動させてください。
- 本体を引きずったり、強い衝撃を与えないように注意してください。
- 電源コードを引っ掛けたり、ふみつけたりしないよう注意してください。
- 本体や台座が手や足に落下するおそれがある場合、床などに落とすと破損の原因となりますので注意してください。

運転切換について

- 「温風運転」⇔「送風運転」の切り換え時は、動作するまでに多少時間がかかります。

※初めてご使用になるときは、塗料などのおいが出ることがあります。しばらく運転すると自然になくなります。

室温表示について

送風または温風運転時に、室内の温度を本体内部のセンサーで検知し、本体の表示部に表示します。目安としてご使用ください。

- ・室温の表示範囲は、0℃～46℃です。
(表示範囲外の場合は、上限値、下限値が表示されます。)

ご注意

- 設置状態の違いや急激な温度変化などの影響で正しい室温を検知しないことがあります。

本体の表示部

<例>温風運転[強]・室温18℃の場合



室温表示

5時間自動オフタイマー（電源切り忘れ防止機能）について

温風運転開始から約5時間経過すると、自動的に運転を停止します。(運転ランプ：消灯、表示部「タイマー」：点滅)

- ・引き続き使用する場合は、一度電源を切り、再度電源を入れてください。
- ・そのまま使用しない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

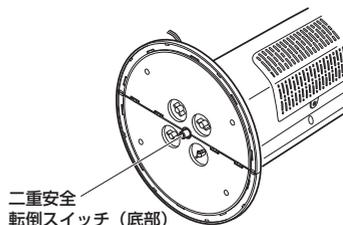
ご注意

- 送風・オフタイマー・人感センサー運転時は5時間自動オフタイマーは作動しません。

二重安全転倒スイッチについて

通電中に本体が倒れたり、傾いたり、浮いたりした場合、また、本体を持ち上げた場合、自動的に電源が切れます。また、倒れた状態で安全転倒スイッチが押されても通電しない二重構造になっています。

引き続き使用する場合は、安定した場所に置きなおし、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。



首振りについて

電源を切ると、本体の向きは首振りスタート時の向きに戻り、首振り機能は解除されます。

温風運転時の温度過昇防止装置（サーモスタット）について

本体内の温度が上昇しすぎると、温度過昇防止装置（サーモスタット）が働き、自動的にヒーターが停止します。(ヒーターが停止し温風が出なくなり送風運転になります。)

電源を切り、次の項目を点検してください。

- ・フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？
- ・吹出口の前に物を置いていませんか？
- ・吸込口がふさがっていませんか？
- ・設置のしかたが守られていますか？(P.5 参照)

原因を取り除いたあと、約30分後、再度電源を入れてください。

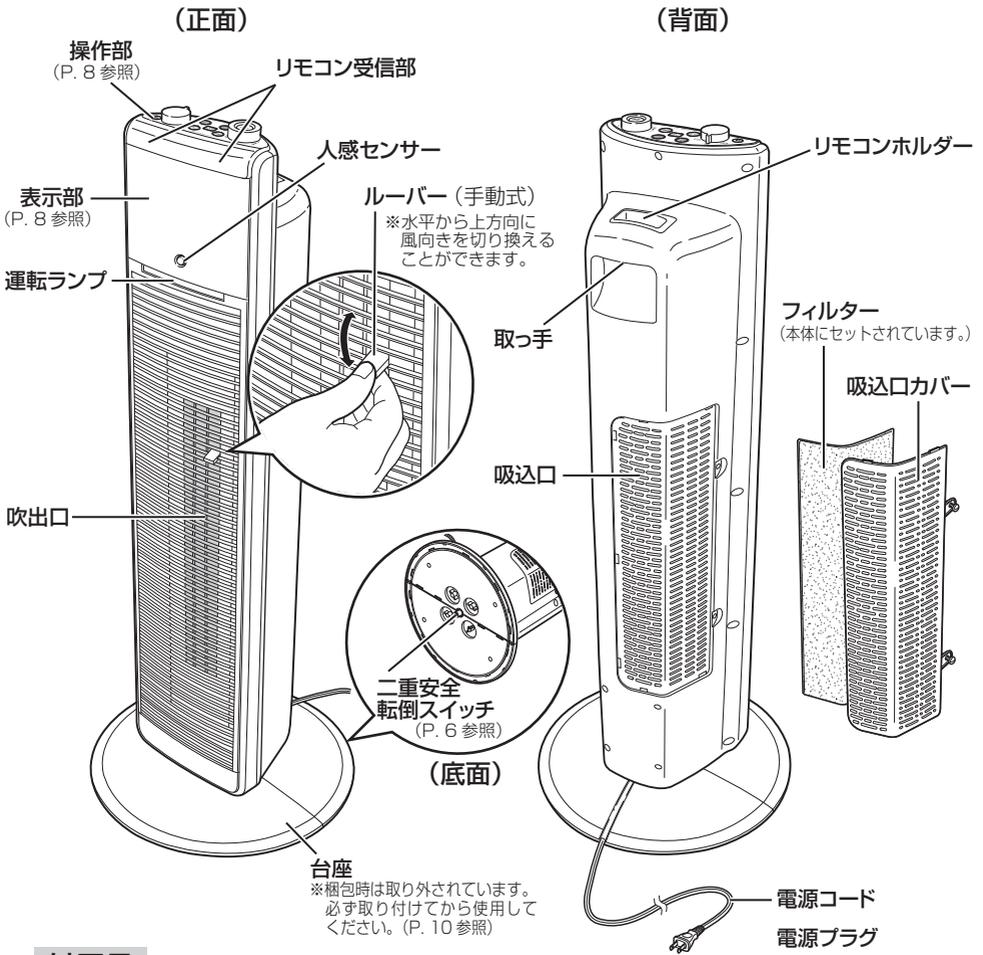
メモリー機能について

本体の「電源」ツマミやリモコンの「電源」ボタンで電源を切った場合、チャイルドロック、送風運転の風量を、電源を切る前の状態で記憶します。

- ・電源プラグをコンセントから抜いた後や停電した時は、記憶されている内容は消えます。

各部のなまえ

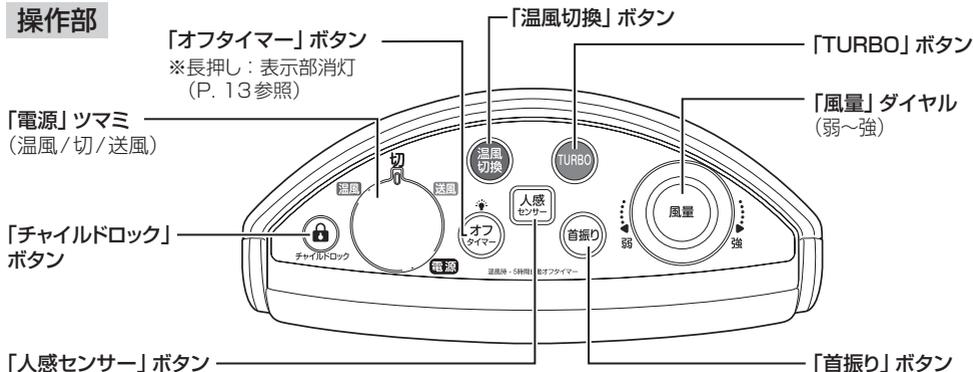
本体



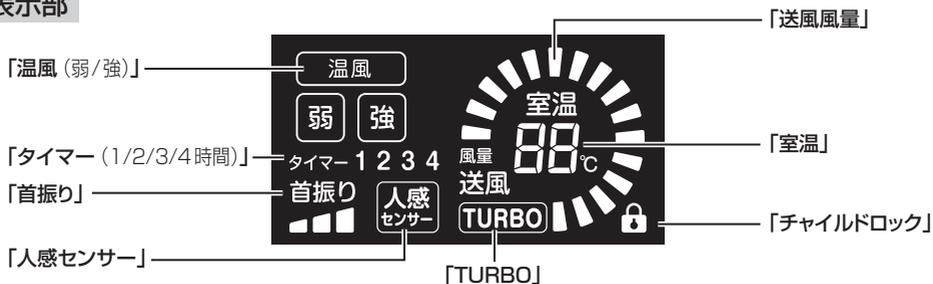
付属品

- リモコン (型番: KHF-02)
 - 単4形乾電池 × 2個
 - フィルター <取替用> (型番: KHF-0002)
 - 取扱説明書 (本書)
 - 保証書
 - 台座取り付けネジ × 4本
※梱包時は本体底面に取り付けられています。
-

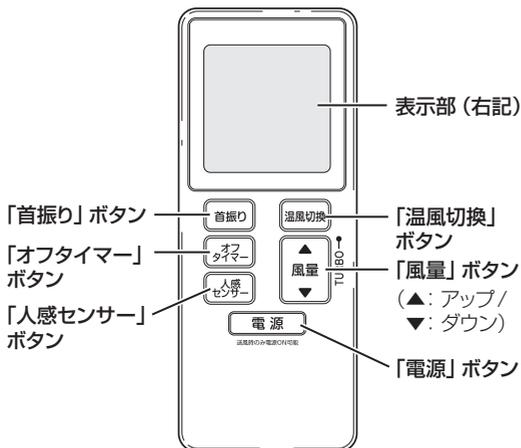
操作部



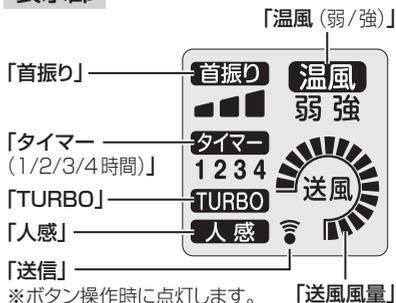
表示部



リモコン ※リモコンでは温風運転開始の操作はできません。



表示部



リモコンについて

※ご使用前に、付属の単4形乾電池(2本)を入れてください。

乾電池の入れかた

リモコンの背面の乾電池カバーを外し、単4形乾電池(2本)を入れ、乾電池カバーを閉める。

乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅い、表示が薄いなどの現象が生じます。新しい単4形乾電池(2本)と交換してください。

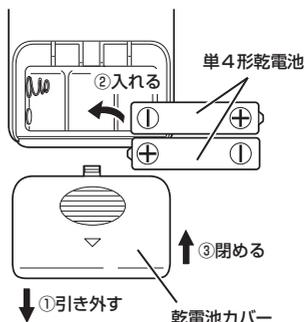
で注意

乾電池の取り扱いに関して、以下のことをお守りください。

- 乾電池(単4形)以外は使用しない。
- 乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。
- 乾電池は⊕⊖極を確かめ、正しく入れる。
- 使い切った乾電池は、すぐ取り出し、分別廃棄する。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
- 使用推奨期限内の乾電池を使用する。
- 新しい乾電池と古い乾電池または異なった種類の乾電池を混ぜて使用しない。
- 火の中に捨てない。

乾電池の発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。

(背面)



リモコンの使いかた

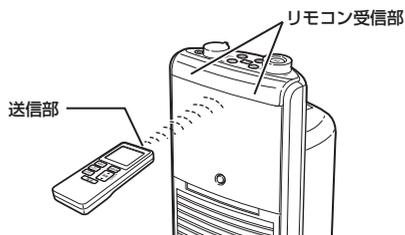
リモコンのボタンは本体の操作ボタンと同様に使用できます。送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

(使用可能範囲：本体から約3m・約30度)

操作後、約30秒でリモコンの表示部が消灯します。

※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。

※リモコン操作が受信されない場合、リモコンと本体の表示が異なることがあります。



リモコンの収納

本体のリモコンホルダーにリモコンを立てかけて収納してください。

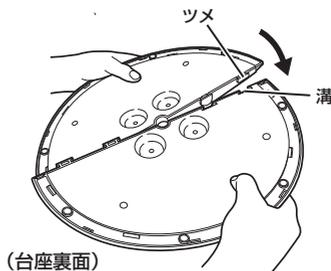
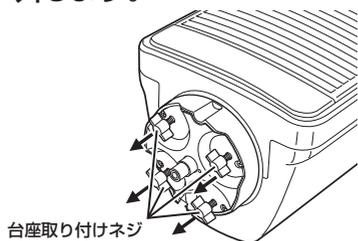


ご使用前の準備 (台座を取り付ける)

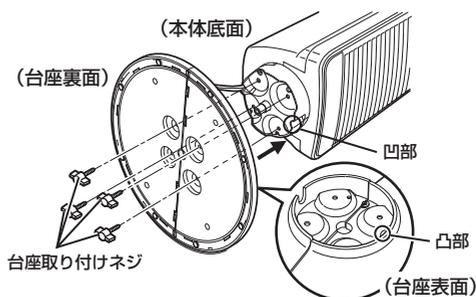
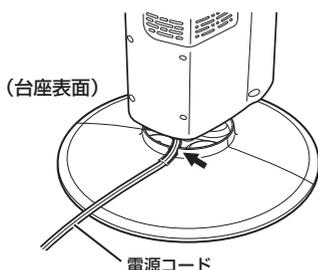
⚠ 警告

- 台座を取り付ける前に運転しない。
本体が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

- 1 本体底面に取り付けてある台座取り付けネジ (4本) を外します。
- 2 台座を裏面にし、組み立てます。
ツメを溝に合わせてはめ込みます。



- 3 電源コードを台座の溝にはめ、台座の凸部と本体の凹部を合わせて本体に台座をはめ込み、台座取り付けネジ (4本) で取り付けます。

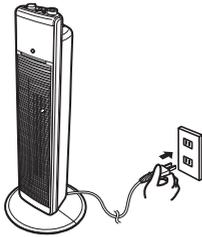


ご注意

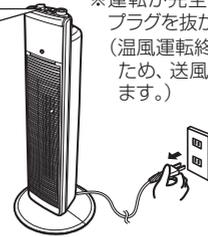
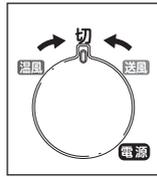
- 電源コードは必ず台座の溝にしっかりとめ込んでください。
本体が転倒したり、通電しないなど故障の原因となります。
- ネジはしっかりと締め付けてください。
本体と台座がしっかりと固定されていないと、不安定なため本体が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

運転のしかた

運転前に 電源プラグをコンセントに差し込む。



使用後は 「電源」ツマミを[切]にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。



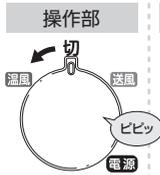
※運転が完全に停止するまで、電源プラグを抜かないでください。
(温風運転終了後、ヒーター保護のため、送風運転を約15秒間行います。)

ご注意

- 運転時や運転後しばらくは、吹出口など高温部に触れたり、吹出口のすき間に手や指を入れしないでください。やけどやけがの原因となります。

温風運転する

1 「電源」ツマミを[温風]にする。



操作部

リモコン

※リモコンで運転開始はできません。

- 運転ランプがオレンジ色に点灯します。
- 運転開始時は常に[強]の設定で運転します。

本体の表示部 <例>室温18℃の場合



- 運転開始後、5時間経過すると、自動的に運転を停止します。(P.6「5時間自動オフタイマー(電源切り忘れ防止機能)について」参照)

2 「温風切換」ボタンでお好みのヒーターの強さを選択する。



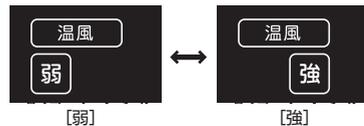
操作部

リモコン

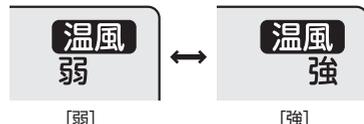
- 「温風切換」ボタンを押すたびに、ヒーターの強さが切り換わります。ヒーターの強さは[弱]と[強]の2段階から選べます。

※風量は変わりません。

本体の表示部

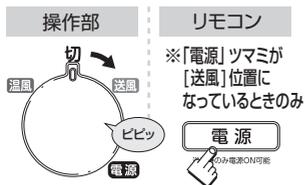


リモコンの表示部



送風運転する

1 「電源」つまみを [送風] にする。



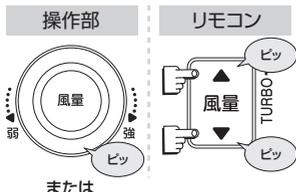
- 運転ランプが青色に点灯します。
- 電源プラグを差し込んで初めて運転したときは、風量 [9] で運転します。

本体の表示部 <例>室温 18℃の場合



※「電源」つまみを [送風] にしないと、リモコンの「電源」ボタンを押しても送風運転を開始できません。

2 操作部の「風量」ダイヤル、「TURBO」ボタン、または、リモコンの「風量」ボタンでお好みの風量を選ぶ。



- 操作部の「TURBO」ボタンを押す。
 - 操作部の「風量」ダイヤルを [弱] の方向へ回す。
 - リモコンの「風量 (▼: ダウン)」ボタンを押す。
- 解除すると、[TURBO] 設定前の風量に戻ります。

- 操作部の「風量」ダイヤルを回す、または、リモコンの「風量」ボタンを押すたびに、風量が切り換わります。
- 操作部の「TURBO」ボタンを押す、または、リモコンの「風量 (▲: アップ)」ボタンを表示部に「TURBO」が表示されるまで繰り返し押しすと、最大の風量で運転します。風量は [1] ~ [16] + [TURBO] の 17 段階から選べます。

本体の表示部 <例>室温 18℃の場合

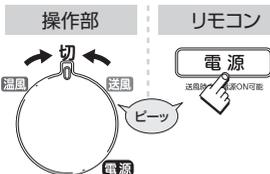


リモコンの表示部



運転を停止する

操作部の「電源」つまみを [切] にする、または、リモコンの「電源」ボタンを押す。



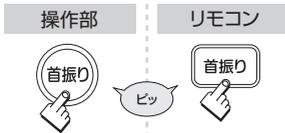
- 運転ランプと表示部が消灯します。
 - 温風運転終了時は、ヒーター保護のため、送風運転を約 15 秒間行います。
- ※リモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止した場合、温風運転を再開するには、操作部の「電源」つまみを一度 [切] に戻してから、再度「電源」つまみを [温風] にしてください。送風運転の場合は、再度リモコンの「電源」ボタンを押しても運転を再開できません。

運転のしかた

いろいろな機能の使いかた

首振り機能

「首振り」ボタンを押す。

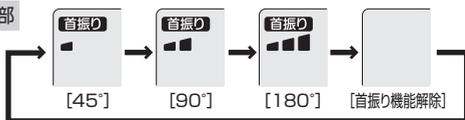


- 「首振り」ボタンを押すたびに、首振りの可動範囲が切り換わります。首振りの可動範囲は [45°] [90°] [180°] の3段階から選べます。

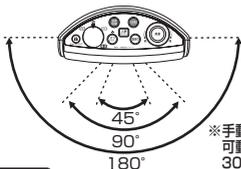
本体の表示部



リモコンの表示部



自動首振りの可動範囲



※自動首振りの可動範囲は90°です。

- ※電源を切ると、本体の向きは首振りスタート時の向きに戻り、首振り機能は解除されます。

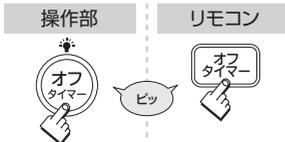
で注意

- 人感センサー機能 (14 ページ) を使用しているときは、首振り機能は使用できません。
- 首振り機能を使用しているときに「人感センサー」ボタンを押すと、首振り機能は解除され、人感センサー機能が設定されます。
- 可動範囲を超えて無理に動かさないでください。

オフタイマー機能

- 設定した時間経過後に、自動的に運転を停止する機能です。

「オフタイマー」ボタンを押す。



- 「オフタイマー」ボタンを押すたびに、設定時間が切り換わります。オフタイマーは [1 時間後] から 1 時間刻みで [4 時間後] まで設定できます。(1 時間後 / 2 時間後 / 3 時間後 / 4 時間後)

- 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。(運転ランプ：消灯、表示部「タイマー」：点滅)

- ※温風運転を再開するには、操作部の「電源」ツマミを一度「切」に戻してから、再度「電源」ツマミを「温風」にしてください。送風運転の場合は、再度リモコンの「電源」ボタンを押しても運転を再開できません。

本体の表示部



リモコンの表示部



- ※設定時間経過前に運転を停止すると、オフタイマーの設定は解除されます。

消灯機能

- 本体の表示部・運転ランプを消灯状態にする機能です。

操作部の「オフタイマー」ボタンを3秒以上長押しする。



本体の表示部



[温風運転時]



[送風運転時]

- ※解除するときには、もう一度長押しする。
- ボタンやダイヤルを操作した場合は、本体の表示部・運転ランプが約10秒間点灯します。

人感センサー機能

●人の動きを感知して、自動的に運転を停止したり開始する機能です。

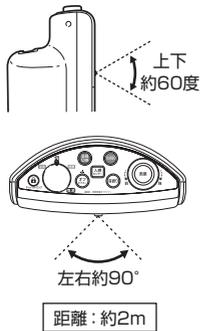
「人感センサー」ボタンを押す。



※解除するときには、もう一度押す。

※電源を切ると、人感センサー機能は解除されます。

■人感センサーの感知範囲



人感センサーの感知時の動作

感知範囲から人がいなくなると

約2分後に運転が停止して、運転ランプが点滅します。

※温風運転時は、ヒーター保護のため、送風運転を約15秒間行ってから停止します。

人の動きを感知したとき

運転ランプが点灯し、自動的に運転を開始します。

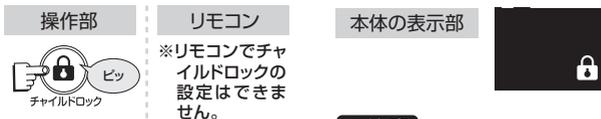
ご注意

- 人感センサー機能を使用しているときは、首振り機能（13ページ）は使用できません。
- 人感センサーの感知は多少時間差がでることがあります。
- 人が感知範囲にいるときでも、全く動かなかったり、動きが小さい場合、速い動きで感知範囲を通過した場合に人感センサー機能が作動しないことがあります。
- 人以外でもペットや風になびくもの、動作するものなどを感知する場合がありますので、センサー感知範囲付近にものを置かないでください。また、まれに太陽光や白熱電球などの照明光でも感知する場合があります。
- 室温が人の体温に近い温度まで上昇すると、人感センサー機能が作動しない場合がありますが、故障ではありません。

チャイルドロック

●誤ったボタン操作を防ぐために、操作部のボタンをロックする機能です。

「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押しする。



※解除するときには、もう一度長押しする。

ご注意

- チャイルドロック設定時は、運転停止とチャイルドロック解除以外の操作はできません。（リモコンでの操作もできません。）
- チャイルドロックを解除せずに電源を切った場合は、運転を再開した際もチャイルドロックが設定されています。解除する場合は、「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押ししてください。
- 運転停止時も、チャイルドロックの設定が可能です。

お手入れのしかた

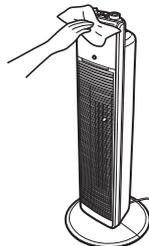
※お手入れは運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、必ず本体が冷めてから行ってください。

本体

・外側は薄めた台所用洗剤（中性）にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。そのあと、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

ご注意

- 操作部、本体内部の電気部品には絶対に水をかけないでください。感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。

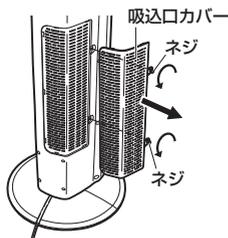


フィルター

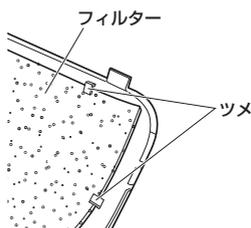
週1回（目安）

・フィルターがごみやほこりなどで目詰まりすると、安全装置がはたらき、運転が停止することがありますので、定期的にお手入れしてください。

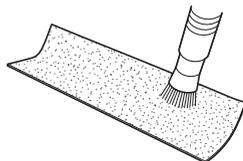
1 吸込口カバーに取り付けてあるネジ（2本）を硬貨などでゆるめ、吸込口カバーを本体から取り外します。



2 吸込口カバーのツメからフィルターを外します。



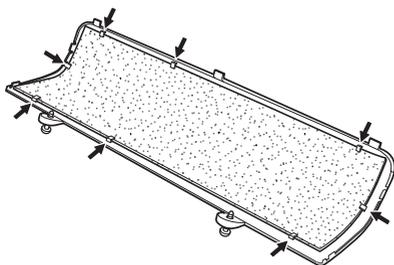
3 フィルターについてごみやほこりなどを掃除機で吸い取ります。



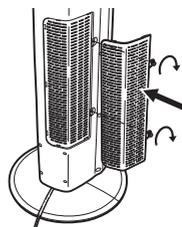
汚れがひどいときは、水洗いしたあと、陰干して乾燥させてください。

4 フィルターを吸込口カバーに元通りにセットします。

※ツメにしっかりとめ込んでください。



5 吸込口カバーを本体にはめ込み、ネジを締め付けて取り付けます。



ご注意

- フィルターを取り外したまま使用しないでください。本体内にごみやほこりなどを吸い込み、故障の原因となります。

保管のしかた

- ・お手入れしたあと、陰干して乾燥させてください。
- ・本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、直射日光の当たらない湿気の少ないところに保管してください。

故障かな?と思われたときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
運転しない 風が出ない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	●本体が傾いたり浮いたりしていませんか？	安定した場所に置きなおし、電源を切ってから再度電源を入れてください。
	●「電源」ツマミが「切」になっていませんか？	「電源」ツマミを「温風」または「送風」にしてください。
	●ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを点検してください。
リモコンの 「電源」ボタンを押しても 温風が出ない	●リモコンで送風運転の再開はできますが、温風運転の再開はできません。	「電源」ツマミを「温風」にしてください。
操作ボタンを押しても 受け付けない	●チャイルドロックを設定していませんか？	チャイルドロックを解除してください。 (P. 14参照)
運転が途中で停止する 風の吹き出しが弱い	●フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？ ※温度過昇防止装置が働いて停止することがあります。	電源を切り、フィルターのお手入れをしてください。(P. 15参照) 約30分後、再度電源を入れてください。
	●吹出口の前に物を置いていませんか？ ●吸込口がふさがっていませんか？ ※温度過昇防止装置が働いて停止することがあります。	電源を切り、「設置について」(P. 5参照)をお守りいただき、正しく設置してください。 約30分後、再度電源を入れてください。
電源プラグが異常に 熱くなる	●たこ足配線していませんか？	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。延長コードを使用しないでください。
	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか？	コンセントをお調べください。
「首振り」ボタンを 押しても作動しない	●人感センサー機能を設定していませんか？	人感センサー機能を解除したうえで「首振り」ボタンを押してください。 ※人感センサー機能設定時は、首振りの設定はできません。
自動で運転停止した	●オフタイマー機能を設定しませんでしたか？	オフタイマー機能を設定すると、設定した時間で自動的に運転を停止します。
	●表示部の「タイマー」が点滅していませんか？	自動オフタイマーが作動しています。 「電源」ツマミを「切」に戻してから、再度「電源」ツマミを回してください。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz共用	
外 形 寸 法	約360(幅)×360(奥行)×910(高さ)mm	
質 量	約6.0kg	
電源コードの長さ	約1.8m	
運 転 モ ード	温風運転	送風運転
消費電力(50/60Hz)	1200W / 1150W	35W
安 全 装 置	二重安全転倒スイッチ サーマスタット 温度ヒューズ(73℃) 電流ヒューズ(3.15A)	
付 属 品	リモコン(型番:KHF-02)、単4形乾電池×2個、台座取り付けネジ×4本、 フィルター(型番:KHF-0002)、取扱説明書(本書)、保証書	

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名 称	型 番
フィルター	KHF-0002

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 送風機能付ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の送風機能付ファンヒーターの点検を!



このような
症状は
ありませんか

- 電源を入れても、ときどき運転しない時がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体が異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

MEMO

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わること相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2016年3月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)